

次世代 eSIM 規格「SGP.32」対応の IoT SIM を共同開発、 7 月 7 日から順次提供開始

～用途や利用エリアなど将来的な運用変更に応じた最適な通信設計が可能～

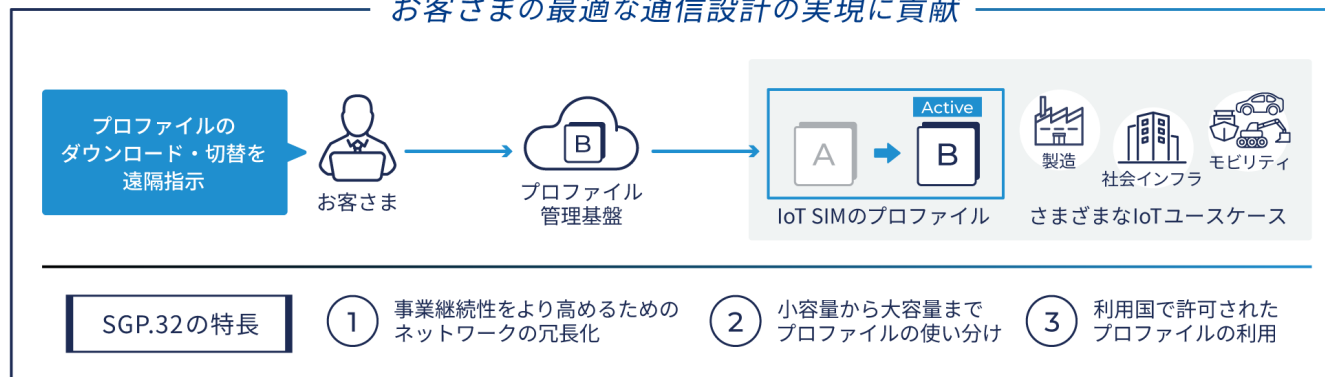
ソラコムと KDDI は GSM Association(以下 GSMA)(注 1)が策定した IoT 機器向け次世代 eSIM 規格「SGP.32」対応の IoT SIM およびプロファイル管理機能を共同開発し、商用化に向けた検証を完了しました。ソラコムは 2026 年 7 月 7 日から、KDDI は 2026 年度下期から、順次サービス提供を開始します。国内通信事業者として、「SGP.32」対応の IoT SIM およびプロファイル管理機能を商用提供するのは初めて(注 2)となります。

昨今、IoT 機器は世界中のさまざまな業界・業種で活用されている一方で、BCP 対策を目的としたネットワークの冗長化や、画像・動画などの大容量通信、海外ローミング規制国における通信手段の確保など、求められる要件が多様化しています。加えて、従来の IoT 通信では、あらかじめ契約したプロファイルの利用を前提とした運用が一般的である中、将来的な利用環境の変化にも柔軟に対応できる IoT 通信への需要が高まっています。

「SGP.32」は IoT SIM の物理的な交換を行うことなく、IoT SIM 内のプロファイルを遠隔操作で切り替えることが可能な規格です。また、「SGP.32」に対応した IoT SIM とプロファイル管理機能は、ソラコムおよび KDDI のプロファイルに加え、他社通信事業者のプロファイルも含めて管理・選択・切り替えが可能となります(注 3)。これにより、用途や利用エリアに応じて最適なプロファイルを選択できるほか、将来的な運用変更が生じた場合には、遠隔からプロファイルを再選択することも可能です。

なお、「SGP.32」対応 IoT SIM およびプロファイル管理機能の共同開発は、2025 年 3 月に両社が締結した IoT 分野における協業に関する包括契約に基づき(注 4)、相互の技術協力により実現しました。

お客様の最適な通信設計の実現に貢献



■「SGP.32」の特長

「SGP.32」は、GSMA(GSM Association)が策定した IoT 向け次世代 eSIM 規格です。IoT 機器に搭載された eSIM に対し、出荷後であっても通信プロファイルを遠隔で追加や切り替えができる仕組みを定めています。

1. 通信プロファイルの遠隔管理・切り替え

遠隔操作で IoT 回線ごとに通信プロファイルの追加や切り替えが可能です。これにより、IoT 機器の用途や利用エリア、および経年的な状況の変化に応じた最適な通信設計が可能です。

2. 通信プロファイルの自動切り替え

通信品質の変化や予期せぬトラブルなどが発生した際、あらかじめ設定したバックアップ用の通信プロファイルに自動で切り替え、冗長構成を確保します。これにより、お客様の事業継続を支援します。

3. 海外でも利用可能

ローミング規制が導入されている国や地域においても、現地の通信事業者が提供する許可されたプロファイルを遠隔で追加や切り替えて利用することが可能です。これにより、海外での IoT 事業の展開を支援します。

■主な活用事例

1. 事業継続を目的としたネットワークの冗長化

エレベーターの監視や自動販売機の電子決済において、状況に応じて他社通信事業者の回線へ自動で切り替えることで、お客様の事業継続に貢献します。

2. 小容量通信と大容量通信の使い分け

商業施設や駅、空港、オフィスビル、医療機関などで利用されるデジタルサイネージでは、監視用途の小

容量通信に加え、動画コンテンツの更新時には大容量通信が発生するなど、用途によって通信量が大きく異なる場合があります。「SGP.32」では、小容量から大容量までコンテンツ容量に応じた最適なプロファイルを選択することが可能となり、通信コストの抑制が可能です。

3. 国際ローミングを規制する国や地域における通信手段の確保

IoT 事業をグローバルに展開する際に、国際ローミングを活用するとさまざまな国や地域で通信手段を確保しやすく、迅速な事業展開が可能となります。一方で、国際ローミングを規制する国や地域も存在し、当該エリアでは利用を許可された現地通信事業者が提供するプロファイルの利用が必須となります。「SGP.32」を活用することで、利用する国や地域ごとの通信規制や運用環境の変化に応じて、国際ローミングと現地通信事業者のプロファイルを柔軟に 選択・変更することができます。これにより、各国の規制に対応しながら安定的なグローバル展開と運用が可能となります。

■各社の役割

企業名	役割
ソラコム	「SGP.32」対応 IoT SIM およびプロファイル管理基盤の開発の主導
KDDI	「SGP.32」対応 IoT SIM およびプロファイル管理基盤の開発の支援

(注1) 携帯電話事業者の業界団体「GSM Association」の略称で、750 社以上の携帯電話事業者に加えて、およそ 400 社の通信機器ベンダーや端末メーカーなどのモバイル関連企業が参加する業界最大の団体。

(注2) 国内通信事業者において国内初。2026 年 6 月 25 日時点、ソラコムおよび KDDI 調べ。

(注3) 今後、随時提携事業者を拡大予定。ソラコムおよび KDDI にて提供可能なプロファイルは各社へお問い合わせください。

(注4) 2025 年 3 月 28 日 ソラコムプレスリリース

ソラコムが KDDI と IoT 分野の協業に関する包括契約を締結

(<https://soracom.com/ja/news/20250328-collaboration-in-the-IoT-field>)

ソラコムについて

AI/IoT プラットフォーム SORACOM は、世界 200 以上の国と地域でつながる IoT 通信を軸に、IoT を活用するために必要となるアプリケーションやデバイスなどをワンストップで提供しています。製造、エネルギー、決済などの産業 DX から、イノベーティブなスタートアップ、農業や防災など持続可能な地域社会を支える取り組みに至るまで、さまざまな業界・規模のお客様にご活用いただいています。

コーポレートサイト <https://soracom.com>

ソラコムの IR サイトでは、決算情報・IR 資料・株主・投資家向け情報を掲載しています。

IR サイト <https://soracom.com/ja/ir>

シェアードリサーチレポート:<https://sharedresearch.jp/ja/companies/147A>

ソラコム IR 公式 note:https://note.com/soracom_ir

IR ニュースレター登録:<https://soracom.com/ja/ir/newsletter>

本ニュースに関するお問い合わせ

株式会社ソラコム 広報 田渕

pr@soracom.jp